



# 2007/08 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区 B

## 市原ロータリークラブ会報



第 2171 回例会 2008 年 6 月 11 日(水) SAA / 三平会員 会報担当 / 万崎会員

例会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584 - 1 事務局 TEL 0438-38-3535

点 鐘 市原 RC 会長 角谷修  
ソング 我等の生業 四つのテスト唱和  
お客様 なし

### 会長挨拶 市原 RC 会長 角谷修



皆さん こんにちは！

米国発の金融不安も一段落の感じでしたが、今週はまた米国リーマン社の決算不安を端にして週明けから株安、債券高で市場が始まっています。原油もバレル 137 ドルの高値をつけ、関連する製品も相次いで値上げの対象になるでしょうし、当分の間 気の抜けない情勢です。

政府の経済見通しも今までより若干下方修正し、景気は曲がり角にあると認識されているようです。私達を取り巻く景気も少し下降すると見た方が良くも知れません。

話しは変わりますが、今日の卓話は羽良会員にお願いしています。女性会員ならではの話をどうぞお楽しみにお聞きください。

### 幹事報告 幹事 斎藤栄志

・ 訃報連絡 千葉東ロータリークラブ 小山篤会員

### 白鳥ガバナー挨拶



まずご報告です。先日チャリティーコンサートを行いました。おかげさまで、2790 地区より千葉県へ AED

4 台を贈呈できることになりました。6 月 12 日に県庁にて贈呈式が行われます。

毎日新聞にも掲載されましたが 6 月 10 日、中国・四川大地震の義援金 300 万円の目録を市川市役所にて千葉光行市長に手渡しました。四川省の樂山市と友好都市を締結していることから、贈り先に市川市が選ばれたものです。市は日中友好協会を通じて、現地に届けます。

ミャンマーへは以前から交流のある船橋東ロータリークラブを通じて 220 万円の支援金を送ります。6 名が現地入りし、ミャンマー医師会などに渡されます。

皆様には大変お世話になりました。次年度は SAA として努力します。

### 会員卓話 羽良好子会員



#### 5 人姉妹の我が家

家族は笑いの絶えない明るい家庭でした。父は 1 人子のため子供はたくさんいた方が良いと思っていたようで、男の子が欲しくて次々に産んだのですが女の子ばかりで、母に貧乏人がそんなに産んで育てられるか?といわれて気づいたとよく話しておりました。まあ!5 人も女の子で大変ですね?といわれると決まって、まだまだ出来たのですが家内が嫌がりますのでと決まり文句でいていました、事実 5 人の年頃の娘が揃って家にいる頃は近所、親戚など男衆の出入りが多く次々に娘達にお茶を出してもらいたくて、取り持ちを良くしていると、なかなか帰らず閉口したこともありました。父は 1 人子だったので戦地に出征の時祖父に「お前が死んだら石川家は終わりだ?偉くなんかならなくてもいい!!必ず帰

て来い」と戦地に送り出された事、戦争の歌、満州の過酷な生活など事あるたびに話しておりました。父が歌っていた戦争時の歌をかすかですが今もいくつか覚えていています。

5人姉妹の長女の洋服はいつも新品で、2番目の私は大体姉のお古でした。3番目位は汚く、次に回すことが出来ず新品も買ってもらっていたようです。しかし年2回の盆と正月は5人揃って洋服上下、履物など新品をそろえてもらっていました。朝起きると祖父、祖母の枕元と5人姉妹の枕元に並べてあり、とっても楽しみでした。

1番上の姉は家取りということで、習い事は裁縫、編み物、活花などで、勤めもダメ、許可なく家を出てはダメ、夕方遅くなると探し回っていて、高校卒業と同時に婿探しをしていたようで、20歳で親の勧め通り見合い結婚?何よりも両親は姉を生きがいにしており、姉はその重荷も有ったことでしょうか?昨年暮に突如、肺閉塞で急死してしまいました。老いた両親を置いて行きましたが、両親のめがねにかなった、義兄は婿にはぴったりの人柄で余分なこと等言わず、よく両親に使えて姉がきれいに行っている事を喜んでおりました。

晩年の姉は好きなことをやり、ほしいもの、買いたいものは自由に買え、贅沢して、66歳での死ではありましたが人生本望だったと想います。2番目の私から下は、そんなに構ってもらえず、習い事は読み書き、そろばん、どこへ行ってもよい、自分で決めてよい、迷惑かけなければ良いと姉とはえらい違いでした。

## 自給自足の生活から脱皮

生計はノリの養殖、梨の生産、稲作、畑の作物などでした。比較的土壌も良く農作物も豊富で、梨のほか、米、トマト、きゅうりなど出荷していたので、ほとんどが手作業でしたので重労働の積み重ねでした。

田んぼの収穫を終えノリの養殖の始まる寸暇に、今おもえば近所、親戚の交流になっていたようです。今年の米の出来具合など、この冬は寒いからノリの出来が良いなどいつも同じ話して、朝早いうちから庭で、味噌、醤油等は近所、親戚も集まり大釜で煮炊きして1年分をつくる行事がならわしとなっておりました。正月の餅、寒い時につく寒餅も近所総出でついておりました。酒が手に入らない戦後に、祖父は新米が出来ると酒(どぶろく)を作っておりました。藁のこもで囲ってありまして、時々掻き回し蔵の奥に行き、美味しそうに味見をしてお

ましたので、子供の頃はどんなに美味しそうなものかと想いそっと手を入れ味見をして、何でこんなまずいのに美味しそうな顔をしているのか、不思議でした。出来上がると近所衆が集まり、出来具合を批評し、話題のない村はいつも同じ話でした。上の方は澄んでおりましたが、麹と米が見え白い液状でした。

時代もあったのかもしれませんが、私たちが育った地域の両親は朝から晩まで寝る暇を惜しむように働いており、隣近所が助け合った生活でした。

ほとんど手作業、ほとんど自給自足でした。人よせがあると裏庭で飼っている鶏がご馳走で、物干しに鶏がぶら下がっていると寄せ事があるとわかりました。しかし昭和35年~町の様子が変わりました。埋め立て事業が始まり漁業権の保証で、今まで手にしたことのない現金が入り、町は今までにない活気がみなぎって、金融業者、建設業者、その他色々な方々が右往左往して町中が浮きだっておりました。ノリ家業の人たちはとかく、宵越しの金ももてない気質もあり、夜になると五井町の繁華街はもちろん、タクシーで千葉、木更津の繁華街までの話はよく聞きました。埋め立て工事が始まるとあんなにポコポコ出ていた彫りぬき井戸が枯れて、水道が引かれ、ガスが引かれて砂利道だった道路がアスファルトになりました。当時の初代岡本管工社長の康平さん(私より1歳上)が県庁を退職して町の水道工事に参加し、寝る間もないほど、忙しいと話していました。近所の人たちも岡本管工に就職し工事に加わっておりました。また埋め立て事業に携わる、住人の宿舎が追いつかず、仮設の飯場が空き地に次々に立てられ、それでも足りず、農家の物置、ノリすき場など少し手入れして、寝られそうところはドンドンと人が入り、バラック同然で、トイレなどなくあちこちに済ませ?見たことない男性がたくさん往来して、変人、空き巣も多く、夜道は父に駅まで迎えに来てもらったものでした。

昭和40年代頃には五井付近の埋め立て事業も落ち着きコンビナートが稼働し始め、当時の稼働の会社も地元住人を優先的に採用して、半農半漁の生活からサラリマンの生活に変わりました。天候気候に囚われ、明日の収入がはっきりしない生活からきちんと給料をもらう生活は、漁業権を断固反対していた人達の気持ちも変えるものでした。

我が家も保証金で酒、タバコ、雑貨の店を開業しました。商人は配達、電話注文で、忙しいながらも母は今ま

での半農半漁の生活より、ずっと楽だといっていました。

## ノリの養殖

品川沖で始まったとされるノリの養殖は千葉へ伝わり、埋め立て前の海のきれいだった頃は、五井から木更津、富津、竹岡沖で取れるノリは「上総のり」といわれるノリで、館山からの潮が洗ってノリを硬くする。その硬さが味と香りの最高品として、上総ノリは徳川時代から、江戸に出荷され、育ってきました。我が家でもノリの養殖が生計一つでした。

千葉のノリは現在でも船橋三番ヶ瀬で木更津金田、富津で養殖されています。

ノリを育てる「竹ひび式」と呼ばれる手法で支柱に網を張り、ノリを育てる手法でした。内湾は貝も豊富で、ハマグリ、アサリ、青柳など稚貝を放しノリのとれない夏場時期に、採取しこの貝でも生計を得ておりました。

ノリ取り舟 (5m ほどの木舟)はっぱ舟はさおで漕いで沖の養殖場まで行くのです。ですから若い衆の男女は舟に乗れないとノリ養殖杖で来ません。お嫁さんは舟こぎを練習し、母も上手に漕いでおりました。潮の満ち干で現場に出ますので朝3時4時起きもよくあることでした。小さな舟ですでのなぎなら良いですが風の動きを察知しているもの出るか否か?の時は魚組からの有線放送の連絡を待ちます。

潮の干満から吹上橋 (今は取り壊されて跡地に石碑)から出る時と玉前の濡から出る時があります。吹上橋の土提坂、玉前の土提坂をリヤカーで押し上げるのが大変でよく手伝わされたものでした。ノリの葉っぱは手のひらより数倍大きいので細かく砕き、水で溶き、よしづに木の形枠で梳き乾かしたものがノリの製品です。ノリの葉っぱはすぐに赤くなってしまうので、新鮮うちに作業をしなくてはなりませんので、これも家族総出での作業です。寒い時の作業は冷たく子供なりに大変でした。

ノリは寒くて冷たいほうが胞子がよく育つようで暖冬の時や青が混じったノリなど赤めのノリなど出来てしまうようで、気候の変化に左右される商品でした。

出来上がったノリは現金売買でしたので、大量に現金を手にした時は子供心に嬉しい感じでした。ノリは仲買業者にひきとられますがその仲買業者はなぜか長野の方多かったです。今でも茶屋、ノリを商売にしている方は長野県出身か、また長野の方とかかわりを持っている人の

ようです。当クラブの小池さんの小池海苔店、五井の小林海苔店さんも長野出身と思います。

## いちほら梨

養老川河川似合った市原梨は味もよく市場でも受けがよかったです。我が家ではノリに次ぐ生計の手段でした。しかし梨の木の管理はとっても大変でした。太陽の光と手間隙かけた分で品物よしあしが決まる?梨は食べごろには手がかかりませんが、接木で大きくし、剪定で幹を太くします。接木して7年位から収穫できます。15年程の木は木がくたびれないように接木をして負担を少なくします。1本の木100~150ヶほどならせませす。袋かけ、肥料やりから、梨木の下の子草の草刈、人手がいるため、学校に行く前に姉と二人で梨の木の下の子草刈はまかなっており、ちょうど勉強が始まるころ、くたびれがでてほとんど居眠りでした。7月下旬より早稲もぎが始まります、なりものは朝つみが良いとされ朝食の前に摘み取りです。よく手伝わされて、学校に行く前のひと仕事でした。

形のよいものは出荷して形の悪いもの、ちょっと虫食いやなどがおやつでした、今は買って食べていますが、形のよいものが食べられその頃の状況も思い出します。

自給自足の生活から50年あまり激動の時代でした。

たくさんの田んぼがあり小川がながれ、庭先に蛍が飛び交った穏やかな時代から、一遍して文化的な生活を手に入れましたが、自然の復元は難しく、テレビ等から受ける情報に、心まで殺伐になってしまった生活を何とか取り戻して欲しいと想う昨今です。

## ニコニコ・ソーリーボックス

**角谷会長** 先日ゴルフコンペで優勝致しました。幸せのほんの少しをニコニコします。

**上條会員** 親の形見で20年間使っているライターが1ヵ月ぶりに戻って来ました。例会で忘れたのを斉藤幹事が保管してくれていました。ありがとう!

**菊池会員** 3週間程、総会屋家業が忙しくて欠席が続きました。他の場面でボランティアが重なり御免なさい。

**羽良会員** おもしろくない話を聞いて下さりありがとうございました。

## 出席報告

前々回確定 70.6% 本日出席者 38名 欠席者 12名  
本日出席率 76.5%